

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実(ひょうご女性の活躍推進事業等)				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	男女共同参画班
					連絡先	078-362-3160
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業 ※一部単独あり					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県
事業目的	県内企業の女性活躍推進のため、県男女共同参画センターに「女性活躍推進センター」を設置し、職場における意識改革や女性の登用の促進、働きやすい職場環境整備等を行う企業を支援し、社会全体の気運の醸成を図る					
事業概要	1 女性活躍推進センターの運営：女性活躍推進専門員を設置し、企業への訪問による個別相談を実施 2 女性の活躍企業育成プロジェクトの実施：意欲のある企業に対し、アドバイザー派遣等により地域・業種モデル企業として育成 3 企業の女性社員向け階層別社員研修会(管理職、中堅、若手向け)の実施					
これまでの改善状況	○R1年度 女性の活躍企業育成プロジェクト創設 ○R4年度・企業が自己診断により現状を数値化・見える化し、要件を満たす企業を県で認定するための「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定制度」の創設 ・企業の女性社員向け階層別研修会の開始					
業務フロー	1 女性活躍推進専門員が、要望のあった企業を訪問し、相談 2 意欲のある企業に対し、個別相談実施 → 職場の意識改革等ヒナ企画 → 専門講師の派遣 → 企業でのヒナ実施 3 中小企業等へ募集 → 階層に応じたスキルアップ、社外でのネットワークづくりを目的とした研修を実施					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	6,929 千円	9,739 千円	12,817 千円	13,908 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	6,044 千円	8,469 千円	9,381 千円	9,362 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	885 千円	1,270 千円	3,436 千円	4,546 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(3,272千円)	(4,678千円)	(6,184千円)	(6,672千円)
		(特定)	(382千円)	(382千円)	(448千円)	(563千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(3,275千円)	(4,679千円)	(6,185千円)	(6,673千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,929 千円	9,739 千円	12,817 千円	13,908 千円
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
			2,498 千円	2,468 千円	2,586 千円	2,586 千円
		職員給与費 a	2,165 千円	2,131 千円	2,253 千円	2,249 千円
賞与引当金繰入額 b		174 千円	172 千円	174 千円	172 千円	
退職手当引当金繰入額 c		159 千円	165 千円	159 千円	165 千円	
総コスト(①+③)		9,427 千円	12,207 千円	15,403 千円	16,494 千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標	25	(25)	(25)	(25)
民間における女性管理職比率 (ひょうご男女いきいきプラン2025(R3~R7)) ※直近値: 15.4%(H29)		実績(見込)	--	--	(20)	(25)	【令和7年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(770千円)	(660千円)	
		達成率(見込)	--	--	(80.0%)	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標②)		目標	--	--	30	50	50
ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 (ミモザ企業)認定数(R4~)		実績(見込)	--	--	(70)	(50)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(220千円)	(330千円)	
		達成率(見込)	--	--	(233.3%)	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標③)		目標	--	--	--	--	--
		実績(見込)	--	--	--	--	--
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目標	--	--	60	90	90
	中小企業等の階層別女性社員研修会 参加者数(R4~)	実績(見込)	--	--	(104)	(90)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(148千円)	(183千円)	
		達成率(見込)	--	--	(173.3%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標	--	--	--	--	--
		実績(見込)	--	--	--	--	--
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標	--	--	--	--	--
		実績(見込)	--	--	--	--	--
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
目標	終期設定	有 ()					無
	改善基準	-					
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		企業への個別相談支援や、課題解決のためのトップ層の意識改革・女性社員のモチベーション向上のための研修実施等、総合的な支援が実施しているが、個別相談実施後も企業内での取組みに繋がりにくい等、成果面での課題あり		・女性活躍推進専門員が、企業への個別相談や研修を実施することで、企業への支援について一定の評価はできるが、個別相談実施後に自社内での取組み(社内研修等)に繋がらない企業が多い等の課題がある。 ・その主な要因として、企業トップの意識改革に十分繋がられていないことが考えられるため、説明内容の改善を図ることが必要 ・今後、年間50社のミモザ企業の着実な認定も含め、女性活躍の更なる促進のため、効果的な支援方法の検討が必要(参考) ・R4個別相談実績: 62社 ・うち社内での取組未実施: 32社(51.6%)		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・R4からミモザ企業認定数を指標とすることで、県内の女性活躍の推進状況を効率的に把握し、効果的な業務執行を実現 ・個別相談支援についても、オンラインでの相談を可能とするなど工夫				
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (・セミナー参加や個別相談を実施している企業であっても、トップの意識改革が十分でないために企業内での取組み実施に繋がらず、結果として女性活躍推進が図られていない企業が多いことが課題 ・従来から実施する個別相談等における説明内容・方法の工夫により、トップへの動機付けに繋がる改善を検討)						
外部委員会意見	・企業トップが女性活躍にやる気を持てば、一気に社内での取組につながるため、企業トップへの働きかけを強化すべきである。トップセミナーを開催することとし、その開催回数をアウトプット指標にすべき。 ・業種ごと地域ごとのミモザ企業の割合を分析すべき。 ・地方の中小企業で活躍する女性をアンバサダーとして、取組を情報発信してもらってはどうか。 ・ミモザ企業だけの合同説明会など、ミモザ企業と認定されることのメリットも積極的ににつくっていくべき。 ・中小企業の中の女性活躍で取り上げられる企業が限定化されている。幅広く拾い上げ、さらなる好事例を共有すべきである。						
改善結果							
・企業トップへの働きかけを強化するため、市町・経済関係団体等と連携し、経営者向けの意識改革、女性活躍の取組を促すためのセミナーを開催し、セミナーでは、お手本となる中小企業の事例発表実施を検討(あわせて、R6年度以降、セミナー開催回数を活動指標として設定) ・専門員による企業訪問、相談対応において、的確な改善点や、女性活躍に取り組むメリットをアドバイスするなど、支援内容を充実 ・ミモザ企業の価値向上に向け、SNS等を活用した魅力発信や、女子学生と企業のマッチングを促進							